

平成 24 年度 民間競争入札実施事業
空港土木施設維持修繕工事の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

- (1) 業 務 内 容：空港土木施設の維持工事
(2) 契 約 期 間：平成 23 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

2. 実施状況に関する評価

- 確保すべき質として設定していた項目（①不具合の復旧未実施件数<0 件>、②航空機の運航への影響件数<0 件>、③維持工事の確保すべき水準）は、全て目標水準を達成。
- 民間事業者からの提案により、業務の効率性の向上等が図られた。

3. 実施経費に関する評価

契約額（平成24年度から3年間の契約額の単年度換算額）と従来経費（民間競争入札導入前の平成22年度）の比較は、以下のとおり。（単位：千円）

	従来経費	契約額	単年度換算	差	増加割合
	A	B	B/3	B/3-A	(B/3-A)/A
函館空港	116,970	344,400	115,411	-1,559	-1.3%
新潟空港	99,225	286,650	95,583	-3,642	-3.7%
松山空港	42,000	126,000	42,000	0	0.0%
宮崎空港	49,875	155,400	51,800	1,925	3.9%
合計	308,070	912,450	304,794	-3,276	-1.1%

※宮崎空港は、標識の維持数量の増加等により、契約額が増額となった。

4. 今後の事業について

本事業を実施するにあたり、幅広い者の参入を促すために入札参加資格要件の緩和等を行った結果、何れの空港でも複数者の応札はあったが、更に多くの民間事業者の入札への参加を促し、競争性を高める方策として、近年の入札参加資格要件の緩和状況について十分に周知すること、応札可能な民間事業者に対して積極的に情報開示を行うこと、人材確保等の準備期間を確保すること等について検討する必要があると考えられる。

良好なサービスの質が達成されていることから、次期事業においても引き続き民間競争入札を実施することが必要と考えられる。

以上